

大草谷津田いきものの里観察会

アカガエルの卵はあるかな？

中田真也子（千葉市）

日 時：2023年2月19日（日）10時30分～12時、天気：曇り（強風）

参加者：19名（大人9名 子ども10名）

担当指導員：小川・岡田(敬)・川北・木下・中田

今回のテーマは「アカガエルの卵」でした。クイズや紙芝居をしたりして、カエルについて学びながら歩きました。事前に申し込んでこられるご家族は、みなさん生き物にとっても詳しい！お子さんは全員男の子でしたが、生き物に超くわしい！

5問のクイズの答えも、すぐわかって声に出してしまうのですが、それでもとっても楽しんでいる様子でした。でも何より喜んでいただいていたのはアカガエルの新鮮な卵をさわられたこと！知識は家でもどんどん取り込めますが、やはり体験は実際、森にきて初めてできるのです。自然観察指導員の小川さん・川北さんは、毎月大草でボランティアで通われ、その自然を見守られてきたので子どもや親御さんのちょっとした質問にも長年の経験から回答されるので、また皆さんの学びにつながったと思います。最初は、少し静かだった参加者の皆様も帰りには大満足の様子。私のお話しした一人のお母さんは、「生き物って、みんなつながっているのですね。今回そのことが解って嬉しいです」とつぶやかれていました。観察会は、子どもだけではなく親にとっても体験、学びなのですね。そして、案内役の私にとっても大きな学びでした。



カエルの紙芝居でガエルについてより深く知る、カエルの新鮮な卵を触って感動、クイズで楽しくカエルについて学ぶ



たくさんあったアカガエルの卵、産卵の時に死んでしまったアカガエル